

3. 関連経済指標の概況

(1) 業況判断

日本銀行「企業短期経済観測調査」(2003年12月)

建設業(大企業)の業況判断DI(「良い」-「悪い」)

前回9月調査の「最近」は-26、今回調査の「最近」は-29、「先行き」は-25となった。

前回9月調査の「最近」と今回調査の「最近」との変化幅をみると3ポイント悪化しており、先行きは4ポイント改善となる見込み。

不動産業(大企業)の業況判断DI(「良い」-「悪い」)

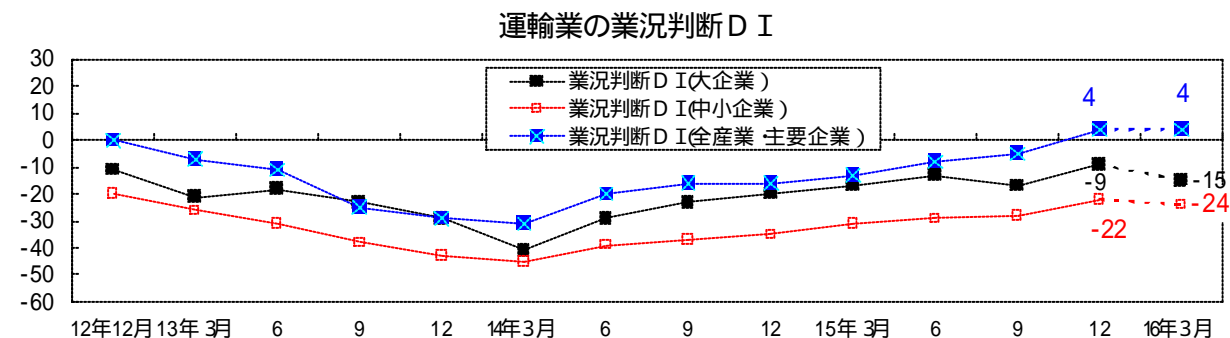
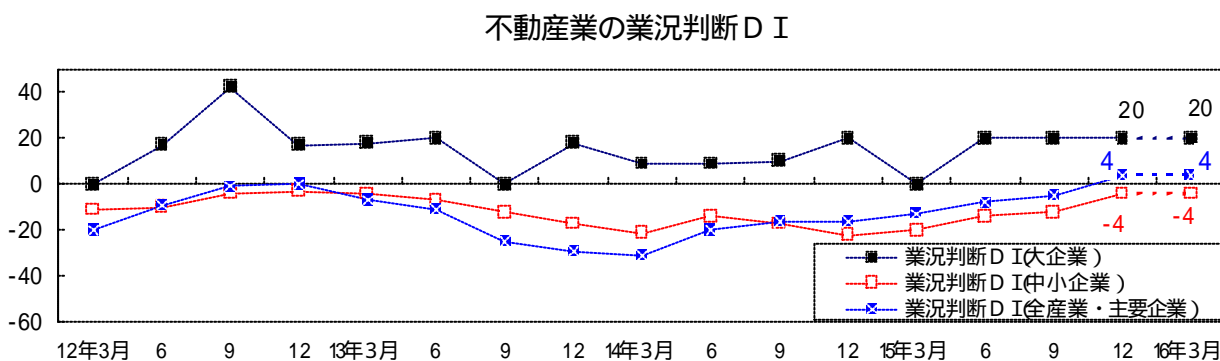
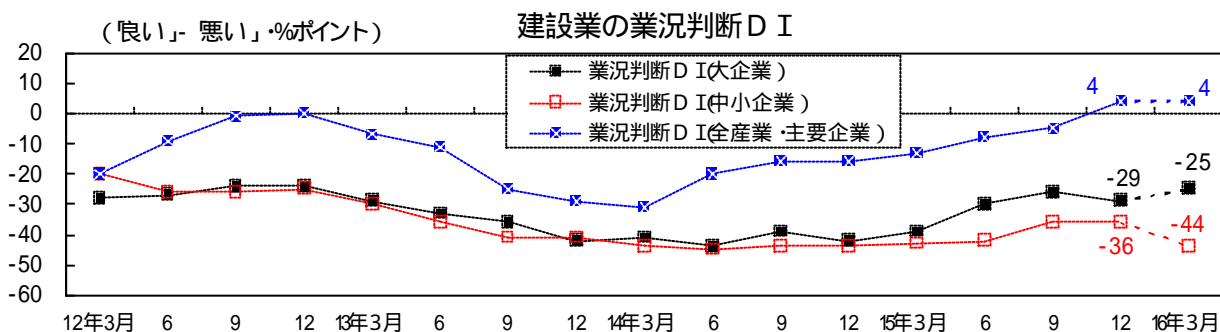
前回9月調査の「最近」は20、今回調査の「最近」は20、「先行き」は20となった。

前回9月調査の「最近」と今回調査の「最近」との変化幅をみると横ばいとなっており、先行きについても横ばいとなる見込み。

運輸業(大企業)の業況判断DI(「良い」-「悪い」)

前回9月調査の「最近」は-17、今回調査の「最近」は-9、「先行き」は-15となった。

前回9月調査の「最近」と今回調査の「最近」との変化幅をみると8ポイント改善しており、先行きは6ポイント悪化となる見込み。



資料:日本銀行「企業短期経済観測調査」

(注)点線は3カ月先までの予測値

(2) 雇用情勢

就業者数等（1月調査）

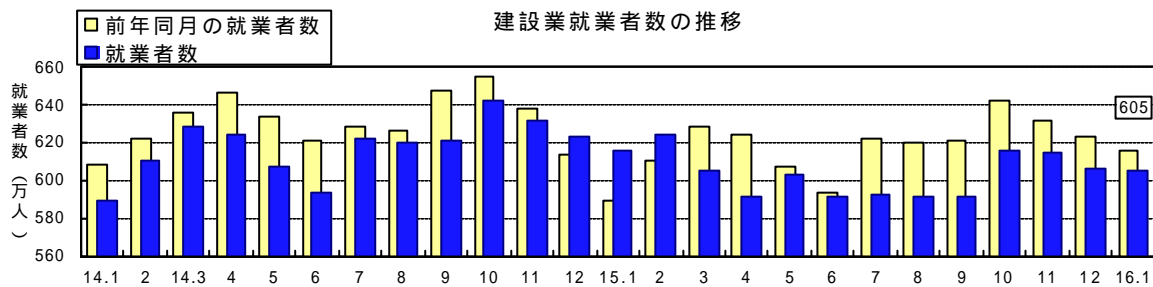
建設業就業者数は605万人で、前年同月比1.8%減少（11ヶ月連続）した。雇業者数は497万人で同1.4%減少（11ヶ月連続）し、うち常雇は同0.9%減少（11ヶ月連続）、臨時雇は同3.2%減少（4ヶ月ぶり）、日雇は同8.0%減少（2ヶ月連続）となった。

運輸業就業者数は330万人で同0.9%減少（5ヶ月ぶり）、雇業者数は310万人で同1.3%減少（5ヶ月ぶり）となった。

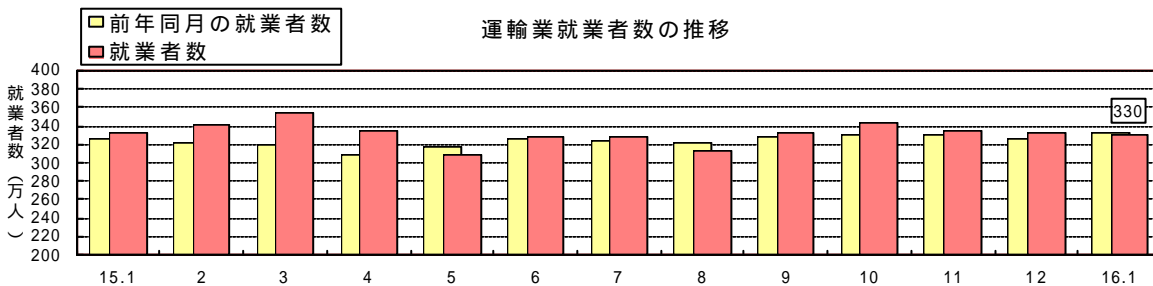
労働の状況（1月調査・速報）

建設業（常用労働者5人以上の事業所）の賃金指数（きまって支給する給与）は前年同月比2.1%増加（2ヶ月連続）、総実労働時間指数は同2.5%増加（2ヶ月連続）、所定外労働時間は同6.7%増加（4ヶ月連続）となった。

運輸業（常用労働者5人以上の事業所）の賃金指数（きまって支給する給与）は前年同月比0.8%減少（11ヶ月連続）、総実労働時間指数は同2.2%増加（2ヶ月連続）、所定外労働時間は同2.4%増（2ヶ月連続）となった。

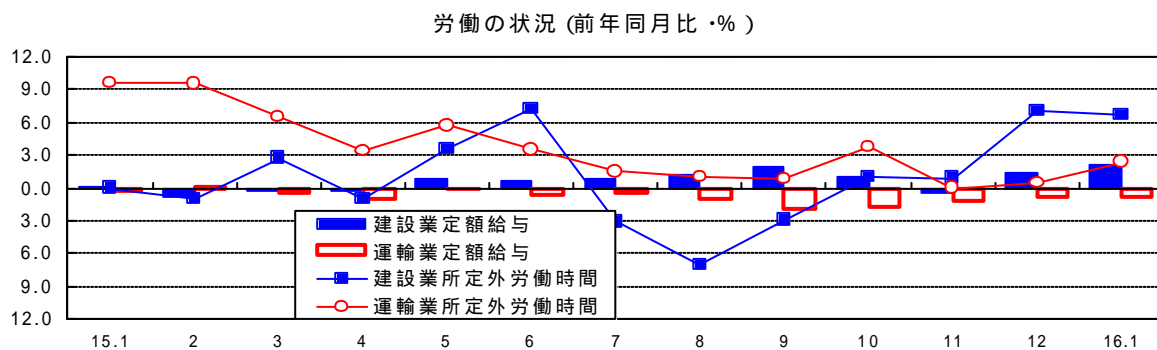


資料：総務省「労働力調査」



資料：総務省「労働力調査」

(注意)平成15年1月分より新日本標準産業分類が適用されたことに伴い、平成14年1月まで遡って数値が改訂された。



資料：厚生労働省「毎月勤労統計調査」

(3) 倒産

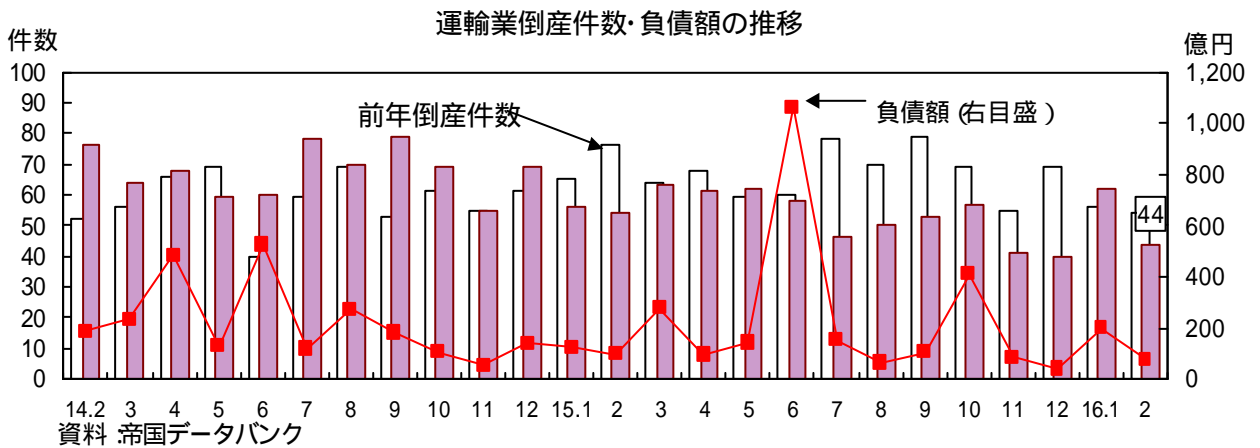
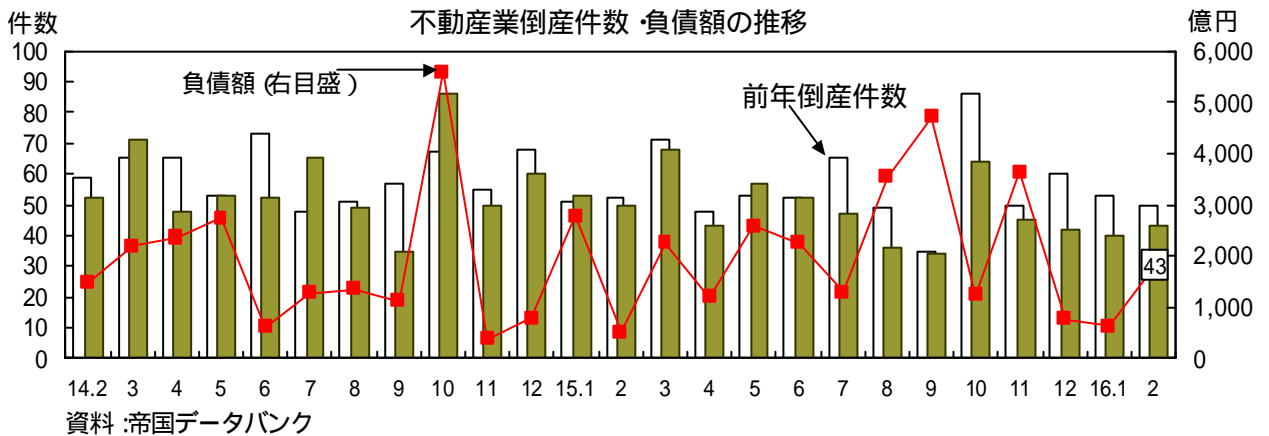
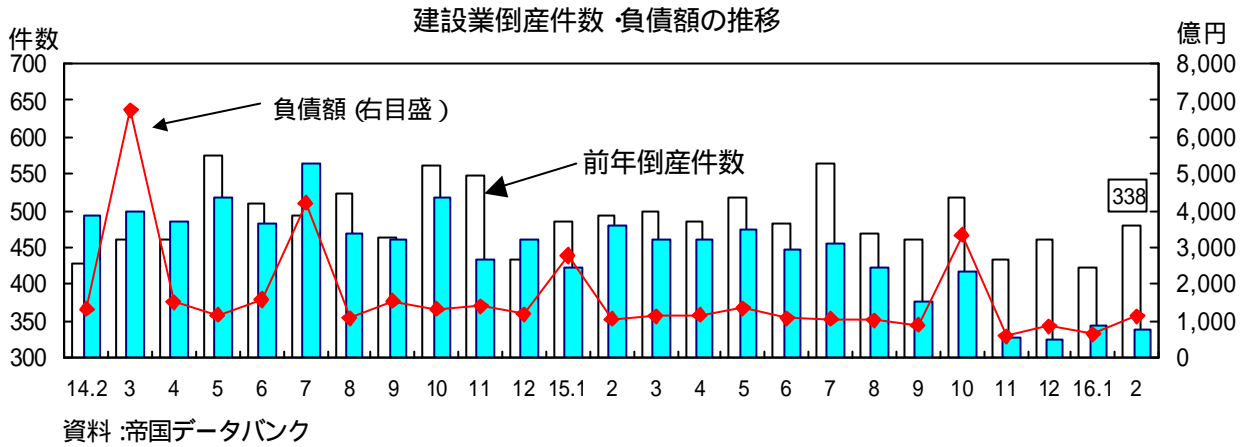
2月

全産業の倒産件数は1,208件で、前年同月比23.8%減と14ヶ月連続の減少となった。

業種別にみると、建設業の倒産件数は338件で、前年同月比29.7%減と14ヶ月連続の減少となった。

不動産業の倒産件数は43件で、前年同月比14.0%減と8ヶ月連続の減少となった。

運輸業の倒産件数は44件で、前年同月比18.5%減と先月の増加から再び減少となった。



(4) 建設資材の市場動向

建設財の生産指数(1月確報、季調済)は85.8(平成12年=100)で前月比3.5%上昇(3ヶ月ぶり)、出荷指数は88.4で同4.4%上昇(2ヶ月連続)、在庫指数は84.1で同2.5%低下(2ヶ月連続)した。

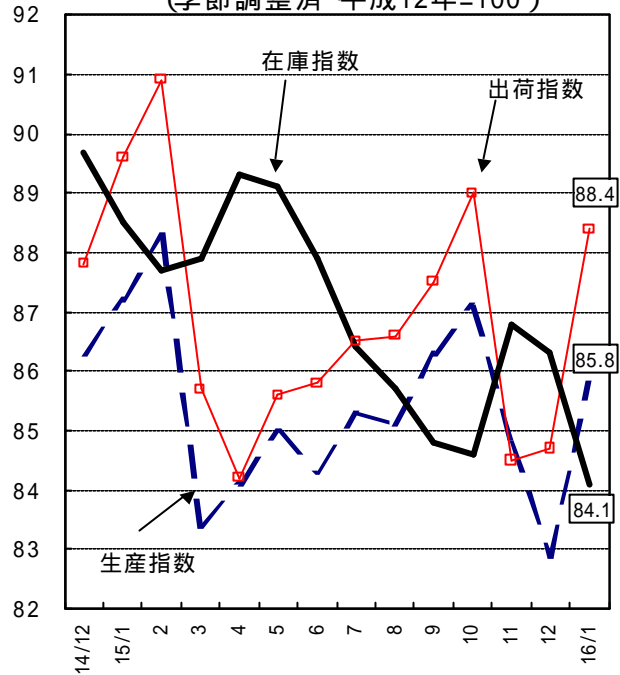
建設用材料(中間財)の企業物価指数(2月)は102.3(平成12年=100)で、前月より0.9%上昇した。

建設財の生産・出荷・在庫
(季調済前月比、%、1月)

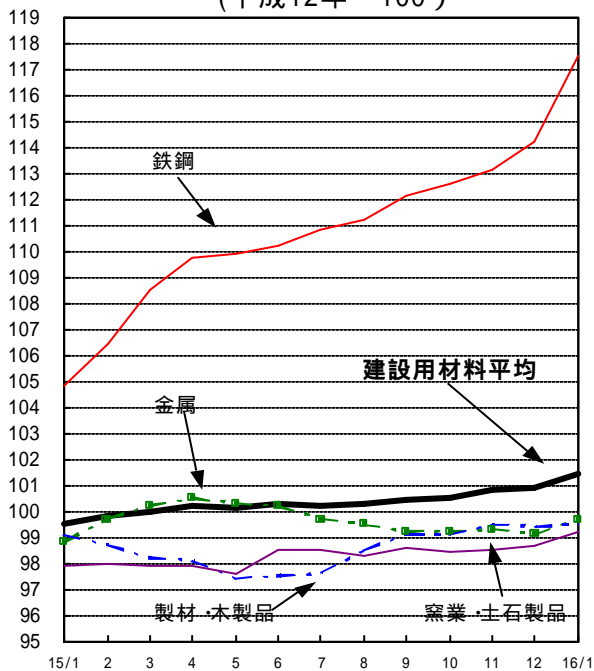
		生産	出荷	在庫
建設財		3.5	4.4	2.5
1月確報値	鉄鋼	2.0	3.1	6.2
	金属製品	4.7	5.1	3.8
	窯業・土石製品	1.6	6.3	2.3
	木材・木製品	1.4	0.4	0.3
建設財(前年同月比)		2.4	2.4	5.0
(参考) 鉱工業		3.3	2.6	1.2
(参考) 鉱工業(前年同月比)		4.8	5.8	4.5

資料：経済産業省「生産・出荷・在庫指数」

建設財の生産・出荷・在庫指数
(季節調整済・平成12年=100)

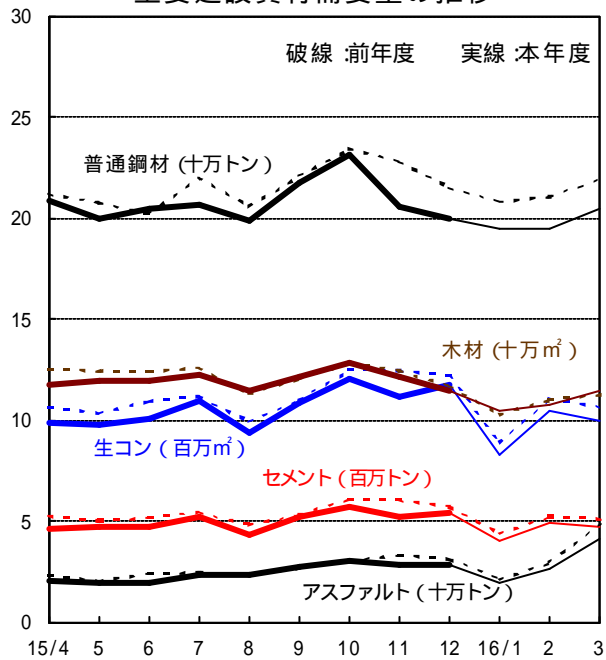


中間財 建設用材料 企業物価指数
(平成12年=100)



資料：日本銀行

主要建設資材需要量の推移

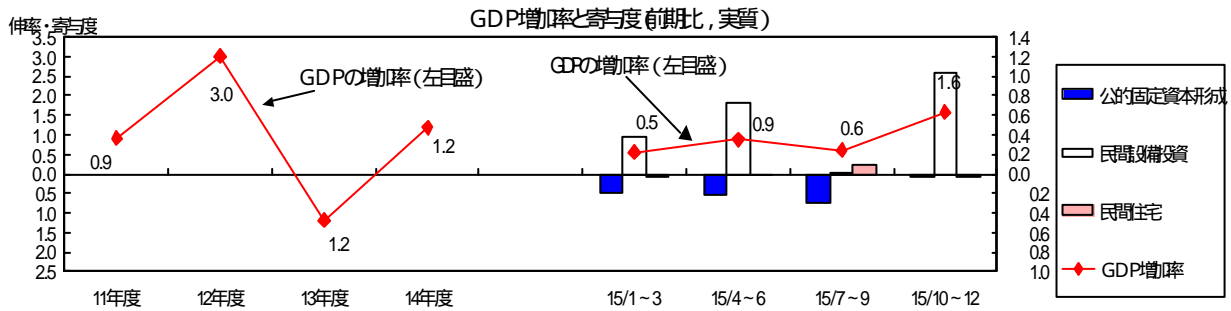


注)直近4ヶ月間の細線は予測値
資料：国土交通省労働資材対策室

(5) 一般経済指標の概況

	全実 質 消 費 世 帯 出	全 売 国 額 百 既 貨 存 店 販	機 船 ・ 械 電 力 を 除 く 民 需 注	資 本 除 財 輸 送 荷 機 指 数	鉱 生 産 工 指 業 数	輸 通 関 額 ベ ル ス 出	輸 通 関 額 ベ ル ス 入	国 物 内 価 企 業 指 業 数	有 効 求 人 倍 率 (季,倍)	完 全 失 業 率 (季,%)	企 業 全 倒 産 産 業 件 数	マ ネ M I 2 サ ブ C ラ D イ	日 経 平 均 2 2 5 種	東 交 通 名 高 速 大 型 道 路 + 全 線 大 車 均
	前 年 同 期 比	前 年 同 期 比	(季 期 前 期 比)	(季 期 前 期 比)	(季 期 前 期 比)	前 年 同 期 比	前 年 同 期 比	前 年 同 期 比	(季,倍)	(季,%)	前 年 同 期 比	前 年 同 期 比	期 末 値 前 年 同 期 比 (円)	前 年 同 期 比
平成12年度	0.5	2.7	16.6	9.0	4.3	7.2	16.5	0.5	0.62	4.7	12.1	2.2	13,000	1.5
13	2.1	0.3	12.6	14.5	9.1	6.6	2.3	2.5	0.56	5.2	5.9	3.1	11,025	4.7
14	0.1	2.3	3.7	5.4	2.8	8.5	3.8	1.7	0.56	5.4	5.6	2.9	7,973	0.2
15年1~3月	1.7	1.9	5.8	1.3	0.3	5.0	8.4	0.9	0.60	5.5	10.4	1.8	7,973	2.9
4~6月	0.3	3.3	3.4	2.9	0.7	2.7	6.4	1.0	0.61	5.6	7.5	1.6	9,083	0.3
7~9月	1.6	2.9	2.9	2.9	1.3	7.1	6.5	0.7	0.64	5.1	19.4	1.8	10,219	0.7
10~12月	0.2	2.3	11.3	6.8	3.7	4.0	0.5	0.4	0.74	4.9	21.3	1.5	10,677	1.0
平成14年12月	0.8	4.7	3.8	2.1	0.1	15.2	14.2	1.3	0.59	5.4	3.5	2.2	8,579	1.7
平成15年1月	1.5	1.7	6.8	5.1	1.7	8.0	10.7	1.0	0.60	5.5	11.4	1.9	8,340	5.8
2	1.0	0.0	6.8	3.2	1.8	7.6	4.6	0.8	0.61	5.3	7.4	1.9	8,363	1.4
3	2.4	3.5	3.8	0.5	0.1	0.7	9.3	0.8	0.60	5.4	12.3	1.7	7,973	1.7
4	1.2	4.7	1.8	7.3	1.5	4.8	5.6	0.8	0.60	5.4	7.7	1.3	7,831	0.3
5	0.8	3.0	6.5	5.4	2.6	3.6	2.1	1.1	0.61	5.4	12.6	1.6	8,425	0.1
6	1.6	2.1	2.4	5.4	1.3	0.0	11.7	1.1	0.61	5.3	1.2	1.8	9,083	1.4
7	3.9	2.0	3.1	4.6	0.5	5.6	5.4	0.8	0.62	5.3	23.7	1.8	9,563	0.2
8	1.0	1.8	4.3	1.9	0.7	6.4	3.4	0.7	0.63	5.1	15.4	2.0	10,344	1.5
9	1.8	5.2	1.6	3.5	3.8	9.2	10.6	0.5	0.66	5.1	18.2	1.8	10,219	3.9
10	0.8	0.6	17.4	5.3	1.0	5.4	1.9	0.5	0.70	5.2	18.7	1.5	10,560	1.6
11	0.7	4.1	7.8	2.7	1.0	2.0	5.1	0.5	0.74	5.1	20.7	1.6	10,101	3.2
12	0.4	3.0	8.1	1.1	0.8	8.5	1.6	0.1	0.78	4.9	24.6	1.5	10,677	1.0
平成16年1月	1.3	0.3	12.2	8.4	3.3	11.2	0.9	0.0	0.77	5.0	16.1	1.6	10,784	0.6
2	-	-	-	-	-	-	-	P 0.0	-	-	23.8	P 1.7	11,042	-

Pは推定値



資料：内閣府「四半別国民所得統計速報」

注1) 項目別の寄与度は、民間企業設備投資、民間住宅、公的固定資本形成の他に、民間最終消費支出、民間在庫品増減、政府最終消費支出、公的在庫品増減、純輸出があり、これら全ての項目の合計が、GDPの増率となる。
 注2) 平成14年以前のGDP増率は、すでに確報値として公表している数値。平成12年度のGDP増率は、参考系列の年度合計値と比較して算出。